

ことばのテーブル100枚プリント

第19集 ことばのネットワーク

解説

ことばのテーブル100枚プリント第19集「ことばのネットワーク」をお買い上げいただき、ありがとうございました。この教材は、単語と単語のつながり＝ことばのネットワークを作ること、目的としたものです。子どもが身につけた語彙が、事物を表すラベルから、さまざまなことばとつながり合ったネットワークに発展して行くことを狙いとしています。「関連語選択」「連想」「語想起」の各課題で構成されています。

【構成】 ※「課題リスト」参照のこと。

◎課題は、I. 関連語選択課題(50題)、II. 連想課題(15題)、III. 語想起課題(30題)で構成されています。

● I. 関連語選択課題は、①放射型 ②連鎖型 ③ペア型 の課題に分かれています。

● II. 連想課題は、①自由連想型 ②連続的連想型 の課題に分かれています。

● III. 語想起課題は、①1条件型 ②クロス条件型(A音韻 B意味)の課題に分かれています。

●各課題とも、自由に問題を作っていただくためのblank枠の課題用紙がついています。

●問題には、小学校低～中学年履修程度の漢字が使用されていますが、すべて振り仮名がついています。

●I～IIIの各課題に難易度の差はありませんが、選択より想起課題の方が難しい傾向があります。

【使い方】 ※「使用例1～4」参照のこと。

I. 関連語選択課題 (課題名:①関係のあることばをつなげていこう ②関係のあることばを線でむすぼう ③ことばのペアをつくろう)

①放射型: 提示された単語と関係が深いと思われる単語を線で結びます。

②連鎖型: 1つの単語からスタートして、関係の深い単語を連鎖的に選び、線をつないでいきます。

③ペア型: 同じカテゴリーの4つの単語と対応関係となる単語を選び、線で結びます。

II. 連想課題: 連続的連想課題 (課題名:①関係のあることばを考えよう ②つづき歌をつくろう)

①自由連想型: 提示された単語から連想される単語を、想起します。

②連続的連想型: 1つの単語からスタートして、関係の深い単語を連鎖的に、想起していきます。

III. 語想起課題 (課題名:①さがしてみよう ②-A □のつくことばをさがそう ②-B どんなものがあるかな)

①1条件型: 提示された1条件に該当する単語を想起します。後半には、「赤くないもの」のような反例発見も含まれています。

②クロス条件型課題: 2つの条件をともに満たす単語を検索・想起します。

A. 音韻条件: 語頭音と音数の条件を共に満たす単語を想起します。

B. 意味条件(一部音韻を含む): 2つの意味的な条件を共に満たす単語を想起します。

【対象】 この教材を開始するにあたって、お子さんに以下の能力が必要です。

①文字能力に関して: 特殊表記を含めたひらがな単語の読解能力が必要です。また書字については、想起課題ではひらがな文字の書字能力が求められますが、口頭での回答も可能です。

②語彙能力に関して: 日常基本単語についての名称理解が求められます。

【この教材の目的・意義】

●ことばの意味的・音韻的なつながりに対する気づきを高めます。

●頭の中の辞書からことばを検索する力を高め、会話における流暢性を育てます。

●クロス想起などの課題を通して、複数の事柄を同時に処理する力を高めます。

※この教材と関連するものとして、ことばのテーブルHP内に、学習会資料(第9回「文法を考える」、第13回「俳句について考える」など)、および、研修会資料(「概念を表すことばの学習」など)が掲載されています。

☆ことばのてーぶる100枚プリントについて

ことばのテーブルでの指導の中で、企画・制作された教材集です。ことばのテーブルでは、この教材集を、指導室での学習や家庭で行うホームワーク教材として使用しています。

※教材集の複製・販売は、ご遠慮ください。

《企画・製作 言語・学習指導室 葛西ことばのテーブル》

●企画・制作責任 三好純太 制作スタッフ: 島本佐保

〒134-0088 東京都江戸川区西葛西5-1-3 第6山秀ビル301

TEL/FAX (03)3687-3158 E-mail: qyt07571@nifty.ne.jp